

令和 5 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号 (52) 学校名 豊田市立五ヶ丘東小学校

1 テーマ

「地域の教育力を活かして、豊かな心を育む教育活動の推進」

2 ねらい

学校経営の方針の一つである「家庭や地域との連携を深め、開かれた学校づくりを進める」に基づき、地域の方を講師に招き、地域の方とふれ合う様々な体験をする機会を教育活動に取り入れ、児童の個性の伸長及び他への思いやりの心を育む。

3 活動内容

- 地域の方々が講師となり子どもたちと共に学習や活動する場を設ける。
 - ・各教科、領域…栽培活動、外国語活動、クラブ（お箏、お茶、消しゴムはんこ）等
 - ・行事、特別活動…夏休みおもしろ講座、ヤゴ救出作戦、読み聞かせ 等
 - ・学習活動の環境整備…ビオトープ、学校菜園 他
- 地域の方が、授業や学校行事に於いて子どもたちの活動や教師の指導をサポートする場を設ける。
 - ・学習支援、校内掲示支援
 - ・運動場を中心とした校内環境整備

4 成果と課題

(1) 成果

- ・総合的な学習でビオトープを中心にした環境教育を行うことができた。子どもたちはより主体的に活動に取り組み、ビオトープを活用することで観察力や探究心、環境を守ることや命の尊さを学ぶことができています。
- ・外国語科・外国語活動では、子どもたちから「ボランティアの方に質問でき、授業がよくわかった」という声を多く聞いた。ボランティアの支援が授業内容の理解に役立ち、授業がさらに充実した。
- ・読み聞かせでは、講師による読み聞かせにより、子どもたちは読書の楽しさを知り、本への関心が高まるとともに、読書の意欲が向上した。
- ・クラブ活動では、消しゴムはんこクラブが作品を校内展示し発表の機会を設けたことで、子どもたちの意欲が高まった。
- ・夏休みおもしろ講座は、6 講座を開設し、のべ 206 名が参加した。学校生活では経験できない活動を通して趣味や興味の幅を広げることができた。「来年もぜひ参加したい」との希望を児童から聞くことができた。

(2) 課題

- ・読み聞かせ支援員や英語ボランティアが減少し、新たな人員が入っていないため、確保を考えていかなければならない。

(3) 「特色ある学校づくり推進事業」に校内整備員を配置したことによる成果

- ・在籍児童数に比して学校施設規模が大きく、日々の環境整備が追い付かないところを、校内整備員の活動により、児童が集中して活動に打ち込める環境が整えられた。また、ビオトープの関係で運動場の多くの部分を草地としているが、運動場のトラック内の雑草をこまめに取り除き、子どもたちが安全に活発に活動できる環境が維持できた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページに教育活動の様子を掲載し（2 月初め現在、22 回は本事業を取り上げている）、取組の状況を地域へ発信している。
- ・学校・学年だよりで、取組の様子を紹介し保護者へ発信している。